

写真展

入場無料

ウクライナ難民から考える 戦争と平和



国境地点でポーランドへの入国を待つ人々

2022年、モルドバ・ルーマニア、©UNHCR/Mihai von Eremia

2022年2月に発生したウクライナにおける軍事行動により、
多くのウクライナの人々が避難を強いられています。
難民支援機関であるUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）による難民支援の写真から、
緊急事態下での人権・ジェンダー平等について考えます。

展示期間

2022年 ※展示時間は開館時間に準じます。

7/30土 ▶ 9/30金

会場

エセナおおた1階展示コーナー

主催・問い合わせ

大田区立男女平等推進センター
「エセナおおた」

東京都大田区大森北 4-16-4

電話 03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

<https://www.escenaota.jp/>



詳細は
こちら

写真展

ウクライナ難民から考える 戦争と平和

UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）は、1950年の設立以降世界各地の難民保護と人道支援に取り組んでいます。UNHCRによるウクライナの人々への人道支援をはじめ、危機から逃れた様々な国の難民などの写真から、緊急事態下での人権・ジェンダー平等について考えます。



UNHCRが実施する性的搾取・虐待からの保護（PSEA）に関するトレーニング中に友人の赤ちゃんの世話をする助産師の女性

暴力が横行する故郷から逃れ、国内避難民の居住区で暮らす助産師。逃れた先で、助産師として女性たちを支えているほか、早期妊娠のリスクや教育の重要性などに関する啓発に取り組んでいる。

2021年、モザンビーク、©UNHCR/Juliana Ghazi



ハンガリーに避難するウクライナの家族

2022年、ハンガリー、©UNHCR/Zsolt Balla

主催・お問合せ

大田区立男女平等推進センター 「エセナおおた」

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4
TEL：03-3766-4586
FAX：03-5764-0604

交通のご案内

JR 京浜東北線「大森駅」東口から徒歩約8分
東急バス「山王3丁目」バス停から徒歩約5分
※駐車場はありません



ホームページ



Twitter

～新型コロナウイルス感染対策～

新型コロナウイルス感染防止へのご協力をお願いいたします。

- 会場内では換気システムを稼働いたします。
- 体調不良の方はご来館をお控えください。
- 入館時にはマスク着用、玄関ロビーにて検温とアルコール消毒をお済ませのうえ会場へお越しください。
- 十分な距離を保ってのご鑑賞をお願いいたします。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「エセナおおた」は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

